



しまなみSUP普及協会
2025年度事業報告書
アウトリガーカヌー普及促進事業・無人島ボヤージング事業

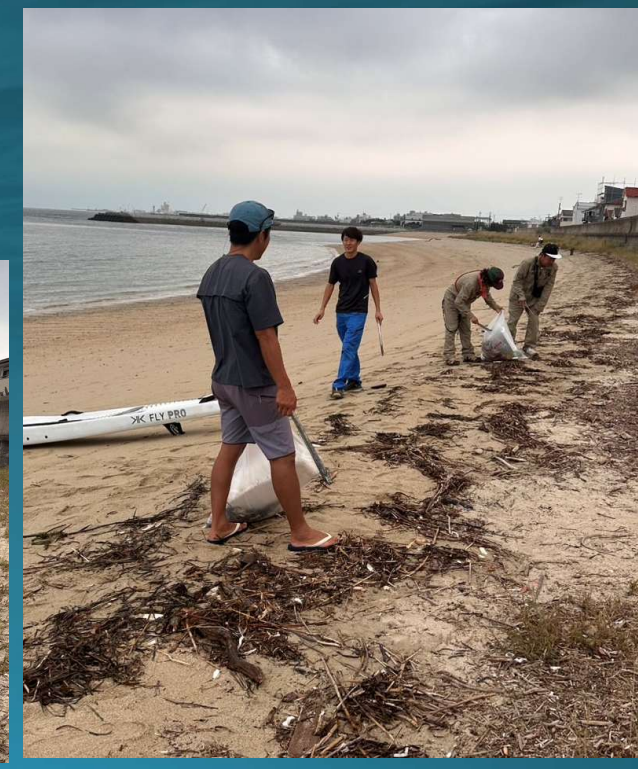
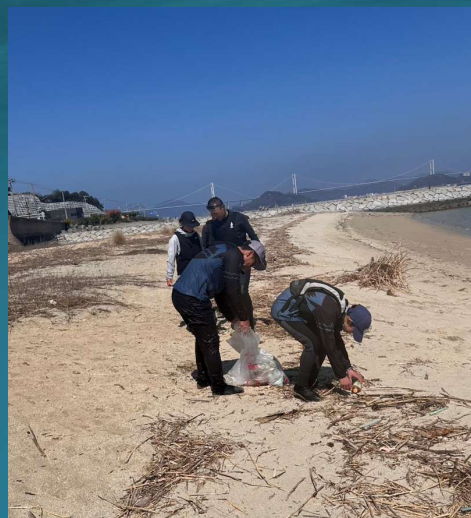
1. 事業目的

- ゲームやスマートフォンの普及により、海に囲まれた今治の貴重な海岸環境から離れ、屋内中心の生活が進んでいます。本事業は、SUPおよびアウトリガーカヌーを通じて「海事都市・今治」に生きる実感を育み、心身の健全な成長と笑顔を創出するとともに、海洋環境保全意識の向上を目的として実施しました。
- 海洋体験と海岸清掃活動を通じて、地域の海洋文化への理解を深めるとともに、海洋環境保全への意識向上を図ることを目的としました。



2. 実施内容

- ・ (1) アウトリガーカヌー普及促進事業
- ・ 7月～12月 月1回開催
- ・ 海岸清掃活動と連動した無料体験会を実施
- ・ 初心者・親子・特別支援学校・放課後等デイサービス利用者の参加受入
- ・ 定員10名規模で安全管理体制のもと実施
- ・ 海岸清掃と海上体験（アウトリガーカヌー）を組み合わせることで、環境保全と海洋文化体験を同時に学ぶ機会を創出しました。



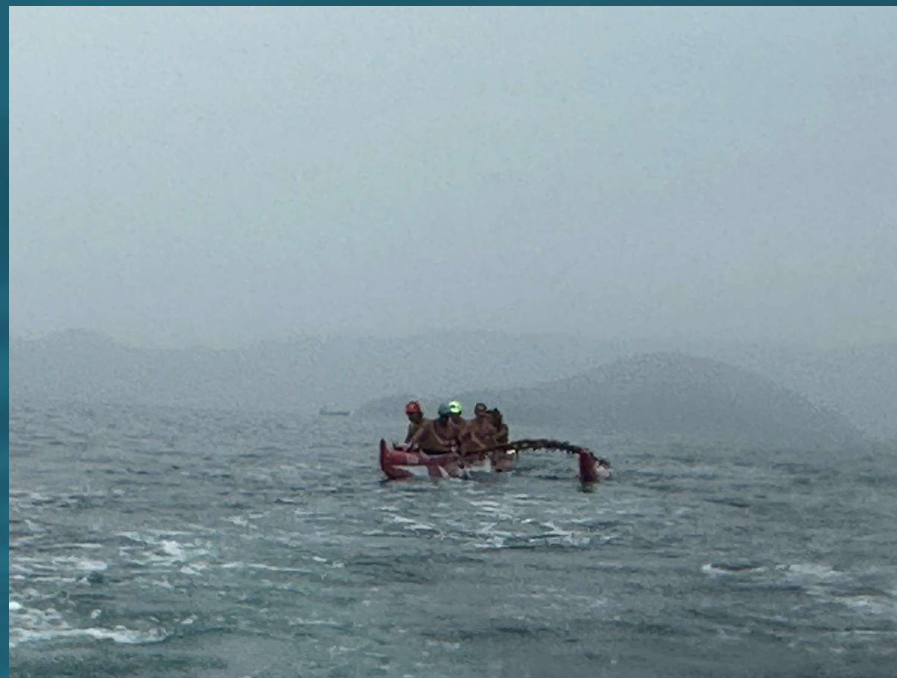
2. 実施内容

- (2) 無人島ボヤージング関連活動
- 9月20日～23日
OCEAN VAA(神奈川のカヌークラブ)瀬戸内海ボヤージング（厳島神社～淡路島）に同行
外洋航海技術、安全管理、チーム運営について実践的に学習
- 12月8日
比岐島への航海を実施
強風のため安全を最優先し途中引き返し
- 自然環境の厳しさを実体験し、安全判断の重要性を再認識する機会となりました。



3. 事業効果

- ・海への関心と地域への愛着の向上
- ・参加者の心身の健全な成長促進
- ・海に親しむ機会を創出するとともに、参加者の海洋環境保全に対する意識向上につながりました。（海洋ごみ問題への意識向上）
- ・多様な子どもたちが参加できるインクルーシブな環境づくり
- ・将来的なクラブ化（SHIMANAMI VAA設立）への基盤形成



4. 課題

- ・参加者数が想定より伸び悩んだ
- ・海やウォータースポーツへの心理的ハードル
- ・広報・情報発信の強化が必要

5. 次年度に向けた取組

- ・SHIMANAMI VAA設立およびVAA JAPANへの正式参画
- ・体験会の定例化と育成プログラム整備
- ・広報強化および学校・行政との連携拡大
- ・無人島ボヤージングの安全体制強化と定例化検討
- ・地域と連携した海洋文化および環境保全活動の拡大を目指します。

本事業は、海を通じて人と地域を育てる持続可能な取り組みとして、今後も継続・発展させてまいります。